

# ポンポン山から光明寺

## 1. 行程 (ランク B)

JR 高槻北バス停 8:08 = 原大橋 8:26 → 沢筋登山口 8:45 → 尾根道  
 合流 10:00 → 本山寺 10:20 (10分) → ポンポン山 11:30 (昼食 30分)  
 → 釈迦岳 12:35 → 見晴らし山 13:00 (10分) → 京青の森 13:30 →  
 分岐 14:00 → 西山キャンプ場 14:20 (10分) → 子守勝手神社 15:30  
 (10分) → 光明寺バス停 15:49 = 長岡天神駅 16:00

所要時間 7時間20分 (歩行時間5時間50分)  
 歩行距離 14.1Km 標高差 550m +  $\alpha$

参加者 11名

天候 晴れ

## 2. 概要

原大橋バス停から少し歩道を進行方向へ歩き、工事車入口の横を谷へ入るとすぐ登山口で目印はテープのみ。そこで体操後、少し沢沿いを行き、すぐに尾根道で10分ほどで鉄塔。そのそばを通りしばらく登りが続いた後、沢に下り、その後は沢に沿って登るが倒木が多く、くぐったり、またいだり障害物競争のようだ。



3年前の台風で倒木が増え登山者がほとんどいなくなったそう。右手の上は尾根筋の登山道が通っている。やがて木漏れ日のさす尾根筋に合流し、本山寺のロータリー、勸進縄を張った門を通り、鐘つき堂で一休み。ここで7, 8人のグループを見つけ、ビラを持って高槻労山入会勧誘活動。階段を更に登った本堂横には紅葉がまだ残っていた。本堂奥から登山道になり、しばらく行って天狗杉。

ポンポン山山頂は人が多かったが、日差しが暖かく気持ちが良いので少し早い昼食。遠くの景色はもやって見えにくかった。釈迦岳へも少しコースを外して、雑木の落ち葉を踏みしめて行った。ポンポン山山頂と見晴らし山ではバスハイクによく参加されるO氏に会う。京青の森の休憩所を通り、ベンチ用の丸太材が置いてあるところを奥海印寺の印がある方へ下る。谷と尾根の急な下りが続いた先で木を伐採して少し開けて居る所に出る。この分岐から奥海印寺方面へは行かず、Nさん達が開いた北東方向の尾根道をとる。少し下ったところで登山道を横切って、前にはなかった自動車が通れる道（工事用か）が出来ていた。この道を何度か横切って登山道を下ると西山キャンプ場に出た。

トイレを借りて一息入れ、光明寺方面を登る。鹿よけの網の戸を3つぐり、T字路に出たところを左に出て梅の木が数本ある展望の良いところで休憩。道を引き返し次の十字路で直進方向の登り道をとる。

下見に来た時、左に下って河陽が丘に出てしまったところだ。次の分岐路には看板が出ており、光明寺方面の道に入ったところですがすぐに南方向に登る。標高差で50mほど登り、230mの三角点を見る。そこから竹林の横を北に下り子守勝手神社に至る。子守神社と勝手神社が合併したそう

うで安産の神さんだそう。小さな社と（神主さんの？）住居があり、  
庭の紅葉が赤い葉をとどめていたので全員で記念写真。

そこから光明寺のバス停までバスの時間に合わせて急ぐ。ここで解散。筆者は何人かと光明寺を見に閉門間際の正門前まで行き、階段わきの紅葉を覗いて、手前の安楽院の庭をゆっくり見て一台後のバスに乗った。





### 3. 所感

ポンポン山に詳しいNさんの案内で、登山道、山頂から釈迦岳への道、釈迦岳から光明寺への下りと、地図に載っていない道を選んで行くことができた。筆者も含めてこの道は初めてという参加者も多く、喜んでいただけたと思う。

小春日和に誘われて、一般道は登山者も多かったが、地図にない道でもちらほら登山者に出会ったのは意外だった。

ポンポン山には他にも一般に知られていないルートがたくさんあるそうなのでひとつずつ登って丁寧にマスターしていきたい。

(Monte Azur 記)

